

**戦略的創造研究推進事業  
ALCA-Next  
提案書記載の際の留意事項  
(**フュージビリティスタディ課題**)**

2025年 3月



**科学技術振興機構**

# 全体を通じた留意事項（フィージビリティスタディ課題）

- 記入にあたっては、青字の記入要領を必ずご確認ください。
- 斜字体の注意書きは削除して構いません。
- e-Radと研究開発提案書双方に記載欄がある事項について、記載内容が異なる場合は研究開発提案書の情報を正として対応します。
- 各様式のページ数制限は以下の通りです。
  - FS様式1は、1ページ以内厳守。
  - FS様式2は、2ページ以内厳守。
  - FS様式8は、3ページ以内厳守。
  - 上記以外の様式は、上限なし。
- 研究開発費は〇〇千円単位の記載となりますので、ご注意ください。（〇〇万円ではありません。）
- 研究開発提案書は、e-Radへアップロードする前に PDF 形式への変換が必要です。





2025 様式(ALCA-Next FS)←

### 3. FSの目標

※通常のALCA-Nextに比べて、現時点で何が不足しており、それをどのように補完するのか、明確に記載してください。

必要に応じて図表等を用いても構いません。

**e-Radに「研究開発提案書を参照」と記載が必要です。**ご注意ください。

※e-Rad入力にあたっての注意：  
e-Rad入力画面には、アップロードボタンがあります。「直接入力」と「pdfアップロード」のどちらもできるようになっていますが、「pdfアップロード」は使用しないでください。

### 5. 研究開発実施の基盤および準備状況

※本構想を推進する基盤となる、以下の点について具体的に記述してください。

- 研究開発代表者自身(および必要に応じて、主たる共同研究者・研究開発参加者)のこれまでの研究の経緯と成果
- その他の予備的な知見やデータ等(存在する場合)

… FS様式2は、ここまでで図表を含め2ページを超えないこと …

The screenshot shows the 'e-Rad' interface with several sections:

- 基本情報 (Basic Information):** Includes fields for 'Research Period (Start/End)', 'Research Category', and 'Keywords'. There are search and clear buttons for the keywords.
- 研究目的 (Research Objectives):** A text area with a 1000-character limit. It contains the text '研究開発提案書を参照' (Refer to the research development proposal).
- 研究概要 (Research Overview):** A text area with a 1000-character limit. It contains the text '200文字以内でご記入ください。' (Please enter within 200 characters).
- File Uploads:** Two tables are shown below the text areas. The first table is for '研究目的ファイル' (Research Objectives File) and the second is for '研究概要ファイル' (Research Overview File). Both tables have columns for 'Name', 'Format', 'Size', and 'File Name'. The format is specified as '[PDF (PDF)]' and the size as '10MB'. There are '参照' (Refer), 'クリア' (Clear), and '削除' (Delete) buttons for each row.

FS様式2は「1. 創出を目指す技術」～「5. 研究開発実施の基盤および準備状況」までの項目を、**図表含めて2ページ以内で作成**してください。

2025 様式 (ALCA-Next FS)

## 研究開発の体制及びスケジュール

(FS 様式)

### 1. 研究開発の実施体制

#### (1) 研究開発体制

| グループ名  | 研究開発代表者<br>または主たる共同<br>研究者の氏名 | 研究開発代表者または<br>主たる共同研究者の<br>所属機関・部署・役職名 | 研究開発題目(20字程度)   |
|--|-------------------------------|--|---|
| ○○グループ<br>※○○(研究開発代<br>表者の姓)グループ   | ○○ ○○                         | ○○大学大学院○○学系研究<br>科 教授                  | ○○○○○○○○○○○○○○○○<br>○○○○○○○○○○○○○○の開<br>発<br><br>※20 字程度でグループの研究開発<br>題目を記述してください。この欄<br>は、FS 様式 4-1 の「研究開発<br>目」にも用いてください。 |
| △△グループ<br>※△△(主たる共同<br>研究者(1)の姓)グ<br>ループ<br>※FS 様式 4-2 以降<br>の「共同研究グル<br>ープ(1)」に対応 |                               |  |   |
|  |                               |  |   |

#### < 研究開発体制の記載に関する注意点 >

- 原則としてJSTは研究開発題目ごとに研究開発代表者または主たる共同研究者の所属機関と委託研究契約を締結し、研究開発代表者と主たる共同研究者が研究開発費の配分を受けられます。
- 研究開発費を執行する必要がある共同研究者は、主たる共同研究者として研究開発体制に加わってください。

### 2. 目標達成に向けた実施内容とスケジュール

※FS 様式 2 で記載した FS の目標の実現に向け、どのようなスケジュールで研究開発を実施するか、記載してください。

#### (記載例)

- のデータ取得(○○グループ)  
～～の開発を行う。研究開始後〇ヶ月を目処に～～を検討完了し、2年目に～～のデータを取得する。
- の解析(△△グループ)  
前項の○○を用いて～～の解析を行い、XX の可能性について定量的な根拠を示す。

JSTから配賦された研究予算を執行し研究開発を実施する、すべての研究開発機関を記載してください。

**研究開発の再委託はできません。** 予算執行を行うすべての研究開発機関とJSTは委託研究契約を締結します。

20字程度でグループの研究開発題目を記述してください。この記載は、FS様式4-1およびFS様式4-2の「研究開発題目」にも記載してください。

FS様式2で記載したフィージビリティスタディの目標の実現に向けた研究開発のスケジュールを記載してください。



# FS様式4-1

2025 様式(ALCA-Next FS) ㊦

## 研究開発実施体制1 ㊦

(FS 様式 4-1) ㊦

(研究開発代表者グループの研究開発実施体制) ㊦

研究開発代表者グループ(〇〇グループ) ㊦

| 研究開発代表者<br>氏名 ㊦ | 研究開発機関名 ㊦            | 役職 ㊦     | エフォート ㊦ |
|-----------------|----------------------|----------|---------|
| 〇〇 〇〇 ㊦         | 〇〇大学 大学院〇〇研究科 〇〇専攻 ㊦ | 講師 ㊦     | 40% ㊦   |
| 研究開発参加者<br>氏名 ㊦ | 所属(上記と同じ場合には省略) ㊦    | 役職 ㊦     |         |
| 〇〇 〇〇 ㊦         | ㊦                    | 博士課程学生 ㊦ |         |
| ㊦               | ㊦                    | ㊦        |         |
| ㊦               | ㊦                    | ㊦        |         |

- 1) 現在の所属機関と採択後研究開発を実施する機関が異なる場合には、研究開発を実施する機関を記載いただき、特記事項にて事情をお知らせください。 ㊦
- 2) エフォートには、研究者の年間の全仕事時間(研究活動の時間のみならず教育・医療活動等を含む)のうち、当該研究開発の実施に必要なとなる時間の配分率(%)を記入ください。 ㊦
- 3) 研究開発グループの構成メンバーについては、その果たす役割等について十分ご検討ください。 ㊦
- 4) 研究開発参加者の行は、必要に応じて追加してください。提案時に氏名が確定していない研究員等の場合は、「研究員 〇名」といった記載でも結構です。 ㊦
- 5) 同じ研究開発題目を複数の組織で取り組む必要がある場合は、研究開発参加者として、異なる組織のメンバーを加えていただいても構いません。ただし、その場合は、JSTと契約を締結する研究開発代表者の所属機関が研究開発費の管理を行えることが必須です。個別にJSTと契約して研究開発費を執行する必要がある場合は、別の共同研究グループとして記載してください。 ㊦

〇研究開発実施項目及び概要 ㊦

・研究開発題目 ㊦

※FS様式3(1) 研究開発体制の表の記載と同一の研究開発題目名を記入してください。 ㊦

・研究開発実施項目 ㊦

※FS様式3(2) 研究開発のスケジュールに対応する研究開発実施項目名を記入してください。 ㊦

・研究開発の目的および内容 ㊦

※研究開発代表者グループが担当する研究開発の概要を簡潔に記入してください。 ㊦

〇特記事項 ㊦

※特別の任務等(研究科長等の管理職、学会長等)に仕事時間(エフォート)を要する場合には、その事情・理由を記入ください。 ㊦

現在の所属機関と採択後研究開発を実施する機関が異なる場合には、研究開発を実施する機関を記載いただき、特記事項にて事情をお知らせください。

エフォートはe-Radの数値と一致させてください。

「主たる共同研究者」はFS様式4-2に記載してください。

e-Radの「2.研究組織情報の登録」には、「研究開発参加者」の入力は不要です。

FS様式3「1.研究開発の実施体制」の(1)研究開発体制の表の記載と同一の、研究開発題目を記入してください。

FS様式3「2.目標達成に向けた実施内容とスケジュール」に対応するよう記入してください。

# FS様式4-2

2025 様式(ALCA-Next FS) ㊦

## 研究開発実施体制2 ㊦

(FS 様式 4-2) ㊦

(共同研究グループの研究開発実施体制) ㊦

㊦ ※研究開発代表者の所属機関内あるいは他の研究開発機関等に所属する共同研究グループが必要な場合、グループごとに記載ください。JSTと委託研究契約を締結し、研究開発費の配分を行う予定の共同研究機関は全て記載ください。 ㊦

㊦ ※研究チームに共同研究グループを加えることは、必須ではありません。 ㊦

### 共同研究グループ(1) (〇〇グループ) ㊦

| 主たる共同研究者<br>氏名 ㊦                       | 共同研究開発機関名 ㊦ <sup>1)</sup> | エフォート ㊦ <sup>2)</sup> |
|--|---------------------------|-----------------------|
| 〇〇 〇〇 ㊦                                | 〇〇研究所 〇〇部門 〇〇千 ㊦          |                       |
| 研究者番号 ㊦ <sup>3)</sup> : 12345678 ㊦     | 研究員 ㊦                     | 10% ㊦                 |
| 研究機関コード ㊦ <sup>4)</sup> : 1234567890 ㊦ |                           |                       |
| 研究開発参加者<br>氏名 ㊦ <sup>3,4)</sup>        | 所属(上記と同じ場合には省略) ㊦         | 役職 ㊦                  |
| 〇〇 〇〇 ㊦                                | ㊦                         | 研究員 ㊦                 |
| ㊦                                      | ㊦                         | ㊦                     |
| ㊦                                      | ㊦                         | ㊦                     |

1)~4) FS 様式 4-1 をご参照ください。 ㊦

5) 主たる共同研究者は、府省共通研究開発管理システム(e-Rad)へ研究者情報を登録した際に付与される8桁の研究者番号を記載ください。 ㊦

6) 所属先の府省共通研究開発管理システム(e-Rad)所属研究機関コードを記載ください。 ㊦

### 〇研究開発実施項目及び概要 ㊦

#### ・研究開発題目 ㊦

㊦ ※FS 様式 3.1.(1) 研究開発体制の表の記載と同一の研究開発題目名を記入してください。 ㊦

#### ・研究開発実施項目 ㊦

㊦ ※FS 様式 3.2. 研究開発のスケジュールに対応する研究開発実施項目名を記入してください。 ㊦

#### ・研究開発の目的および内容 ㊦

㊦ ※本共同研究グループが担当する研究開発の概要を簡潔に記入してください。 ㊦

#### 〇特記事項 ㊦

㊦ ※特別の任務等(研究科長等の管理職、学会長等)に仕事時間(エフォート)を要する場合には、その事情・理由を記入ください。 ㊦

㊦ ※海外の研究開発機関を研究チームに加える場合は、そうしなければ研究開発実施が困難となる理由(設備・環境等)を記載してください。 ㊦

主たる共同研究者にも e-Rad番号の記載を求めます。未取得の場合は、採択時までe-Rad番号の取得が必要です。

エフォートはe-Radの数値と一致させてください。

FS様式3「1.研究開発の実施体制」の(1)研究開発体制の表の記載と同一の、研究開発題目を記入してください。

FS様式3「2.目標達成に向けた実施内容とスケジュール」に対応するよう記入してください。



# FS様式5

2025 様式(ALCA-Next FS) ←

## 研究開発予算計画 ←

(FS 様式 5) ←

※研究開発費は、本プログラム全体の予算状況、プログラムオフィサーによる領域としてのマネジメント、課題評価の状況等に応じ、採択時や研究開発期間の途中に見直されることがあります。 ←

### 1. チーム全体の研究開発費計画(費目別) ←

| 費目 ←              | 初年度 ←             | 2年度 ←             | 合計 ←    |
|-------------------|-------------------|-------------------|---------|
|                   | (2025.3~2026.3) ← | (2026.4~2027.3) ← | (千円) ←  |
| 設備備品費 ←           | 500 ←             | 500 ←             | 1,000 ← |
| 消耗品費 ←            | 1,000 ←           | 1,000 ←           | 2,000 ← |
| 旅費 ←              | 500 ←             | 500 ←             | 1,000 ← |
| 人件費・謝金 ←          | 0 ←               | 0 ←               | 0 ←     |
| (人件費を支出する研究員の数) ← | (0) ←             | (0) ←             |         |
| その他 ←             | 0 ←               | 500 ←             | 500 ←   |
| 直接経費 計 ←          | 2,000 ←           | 2,500 ←           | 4,500 ← |
| 間接経費 ←            | 600 ←             | 750 ←             | 1,350 ← |
| 合計 ←              | 2,600 ←           | 3,250 ←           | 5,850 ← |

※研究開発費の費目と、その用途は以下のとおりです。 ←

- ・ 設備備品費: 設備や備品を購入するための経費 ←
- ・ 消耗品費: 消耗品を購入するための経費 ←
- ・ 旅費: 研究開発代表者や研究開発参加者の旅費 ←
- ・ 人件費・謝金: 研究員・技術員・研究補助員、RA※等の人件費、謝金(※RA(リサーチアシスタント)については募集要項第4章「4.12 博士課程学生の処遇の改善について」をご参照ください。) ←

○ 特記事項 ←

※何か補足すべき事項があれば記載ください。 ←

### 2. グループ別の研究開発費計画 ←

| 費目 ←     | 初年度 ←             | 2年度 ←             | 合計 ←    |
|----------|-------------------|-------------------|---------|
|          | (2025.3~2026.3) ← | (2026.4~2027.3) ← | (千円) ←  |
| 〇〇グループ ← | 2,000 ←           | 1,500 ←           | 3,500 ← |
| △△グループ ← | 0 ←               | 1,000 ←           | 1,000 ← |
| 直接経費 計 ← | 2,000 ←           | 2,500 ←           | 4,500 ← |
| 間接経費 ←   | 600 ←             | 750 ←             | 1,350 ← |
| 合計 ←     | 2,600 ←           | 3,250 ←           | 5,850 ← |

○ 特記事項 ←

※何か補足すべき事項があれば記載ください。 ←

単位は千円です。ご注意ください。

単位は千円です。ご注意ください。

## 業績リスト・過去の実績

(FS 様式 6)

### 1. 提案者業績リスト

※本提案に関連するこれまでの主要な論文・著書等の業績 10 件以内(研究開発代表者分、主たる共同研究者分合計で 10 件以内)を、現在から順に発表年次を過去に遡って記載ください。

※論文についての記載項目は以下の記入例のとおりとしてください。(著書の場合はこれに準じてください。)

※項目順は自由です。

※プレプリントは発表年の後に(プレプリント)と記入ください。

#### <研究開発代表者>

(記入例)

・著者(著者は全て記入ください。)、論文名、掲載誌、巻号、ページ、発表年

#### <主たる共同研究者(1)>

(記入例)

・著者(著者は全て記入ください。)、論文名、掲載誌、巻号、ページ、発表年

### 2. 競争的研究資金制度等において代表を務めた研究課題の事後評価

※研究開発代表者が代表を務めた終了課題のうち、事後評価結果が公開されているものがあれば、以下に記入してください(過去 5 年以内に公開されたものに限ります)。

※該当するものがない場合は、表を削除したうえで「該当なし」と記入してください。

※ご自身以外の課題が多数掲載されている場合は、評価者が確認しやすいよう、ご自身の課題の掲載ページ番号を付記してください。

| 番号 | 制度名 | 研究課題名<br>(実施年度) | 事後評価結果掲載 Web ページの URL |
|----|-----|-----------------|-----------------------|
| 1  |     |                 |                       |
| 2  |     |                 |                       |

主要な論文・著書等の業績10件以内（研究開発代表者分、主たる共同研究者分合計で10件以内）を記載ください。

研究開発代表者が代表を務めた終了課題のうち、事後評価結果が公開されている課題の一覧（過去5年以内に公開されたものに限る）を記載ください。

## 他制度での助成等の有無

- 研究開発代表者および主たる共同研究者が、現在受けている、あるいは申請中・申請予定の競争的研究費(ALCA-Next を含む)やその他の研究費(国外も含め、補助金や助成金、共同研究費、受託研究費等、現在の全ての研究費であって個別の研究内容に対して配分されるもの)について、研究課題ごとに、研究課題名、研究期間、役割、本人受給研究費の額、エフォートを記入してください。募集要項「4.2 不合理な重複・過度の集中に対する措置」もご参照ください。なお、締結済の秘密保持契約等の内容に基づき記載することが出来ないなど、やむを得ない事情により記載が難しい場合は、エフォート以外の項目は記入せずにご提出いただくことが可能です。(審査の際に外部の専門家に提供されますので記載はご留意ください)※
- 記入内容が事実と異なる場合には、研究開発課題の不採択等を行うことがあります。※
- 面接選考の対象となった場合には、他制度への申請書、計画書等の提出を求められる場合があります。※

(※)応募に当たっては、「統合イノベーション戦略 2020」において「外国資金の受入について、その状況等の情報開示を研究資金申請時の要件」とするとされたことを踏まえ、「他制度での助成等の有無」の様式に海外からの研究資金についても記入することを明確にしています。国内外を問わず、競争的資金のほか、民間財団からの助成金、企業からの受託研究費や共同研究費などの研究資金について全て記載してください。※

エフォートはe-Radの数値と一致させてください。

研究開発代表者: ○○ ○○

| 番号 | 資金制度名<br>もしくは<br>研究費名(配分<br>機関名) | 受給<br>状況 | 研究課題名<br>(代表者氏名)               | 研究<br>期間               | 役割<br>(代表/<br>分担) | (1)本人受給研究費<br>(期間全体)<br>(2)※(2026年度予定)<br>(3)※(2025年度予定)<br>(4)※(2024年度実績) | 2025<br>年度<br>エフォート<br>(%) |
|----|----------------------------------|----------|--------------------------------|------------------------|-------------------|--|----------------------------|
| 1  | ALCA-Next FS<br>(本提案)            | 申請       | △                              | 2025.9<br>-<br>2027.3  | 代表                | (1) 3,500千円<br>(2) 1,500千円<br>(3) 2,000千円<br>(4) 0千円                       | 30                         |
| 1  | 戦略的創造研究<br>推進事業さがが<br>け<br>(JST) | 申請       | ××による◇<br>◇の高機能<br>化<br>(○○○○) | 2025.10<br>-<br>2029.3 | 代表                | (1) 40,000千円<br>(2) 10,000千円<br>(3) 10,000千円<br>(4) 0千円                    | -                          |
| 2  | 科学研究費補助<br>金 挑戦的研究<br>(JSPS)     | 受給       | ××による◇<br>◇の創成<br>(○○○○)       | 2023.4<br>-<br>2026.3  | 代表                | (1) 3,000千円<br>(2) 0千円<br>(3) 1,000千円<br>(4) 1,000千円                       | 20                         |
| 3  | 共同研究費<br>(○○株式会社)                | 受給       | ××による◇<br>◇の解析<br>(○○○○)       | 2025.4<br>-<br>2028.10 | 分担                | (1) 2,500千円<br>(2) 500千円<br>(3) 1,000千円<br>(4) 0千円                         | 15                         |

- 現在受給中または受給が決定している助成等について、本人受給研究費(期間全体)が多い順に記載ください。その後、申請中・申請予定の助成等を記載ください。※
- 助成等が、現在受給中または受給が決定している場合は「受給」、申請中または申請予定であれば「申請」、と記入ください。※
- 「資金制度名」もしくは「研究費名」は、国内の競争的研究費以外の場合、資金を配分している機関名も記載ください。※

# FS様式7

2025 様式(ALCA-Next FS)※

- 「役割」は、その研究課題において、代表者として研究費を受給している場合は「代表」、代表者以外の立場で研究費を受給している場合は「分担」と記載ください。※
- 「本人受給研究費」は、ご本人が受給している直接経費の額(代表を務めている研究課題の場合は、共同研究チームは除き、代表者本人が受給した研究費)を記載ください。※
- 「エフォート」は、年間の全仕事時間(研究活動の時間のみならず教育・医療活動等を含む)のうち、当該研究の実施に必要となる時間の配分率(%)を記載ください【総合科学技術・イノベーション会議における定義による】。申請中・申請予定の助成等のエフォートは記載せず、ALCA-Next のみに採択されると想定した場合の、受給中・受給予定の助成等のエフォートを記載ください。ALCA-Next のエフォートと、現在受給している助成等のエフォートを合計して100%を超えないようにしてください。※
- 必要に応じて行を増減してください。※

エフォートはe-Radの数値と一致させてください。

主たる共同研究者(1):△△ △△※

| 番号 | 資金制度名<br>もしくは<br>研究費名(配分<br>欄関名) | 受給<br>状況 | 研究課題名<br>(代表者氏名)               | 研究<br>期間               | 役割<br>(代表/<br>分担) | (1)本人受給研究費<br>(期間全体)<br>(2)※(2026年度予定)<br>(3)※(2025年度予定)<br>(4)※(2024年度実績) | 2025<br>年度<br>エフォート<br>(%) |
|----|----------------------------------|----------|--------------------------------|------------------------|-------------------|--|----------------------------|
| 1  | ALCA-Next FS<br>(本提案)            | 申請       | △△<br>△△                       | 2025.9<br>-<br>2027.3  | 分担                | (1) 1,000千円<br>(2) 1,000千円<br>(3) 0千円<br>(4) 0千円                           | 15                         |
| 1  | 戦略的創造研究<br>推進事業さきが<br>け<br>(JST) | 申請       | ××による◇<br>◇の高機能<br>化<br>(○○○○) | 2025.10<br>-<br>2029.3 | 代表                | (1) 40,000千円<br>(2) 10,000千円<br>(3) 10,000千円<br>(4) 0千円                    | -                          |
| 2  | 科学研究費補助<br>金 挑戦的研究<br>(JSPS)     | 受給       | ××による◇<br>◇の創成<br>(○○○○)       | 2023.4<br>-<br>2026.3  | 代表                | (1) 3,000千円<br>(2) 0千円<br>(3) 1,000千円<br>(4) 1,000千円                       | 20                         |
| 3  | 共同研究費<br>(○○株式会社)                | 受給       | ××による◇<br>◇の解析<br>(○○○○)       | 2025.4<br>-<br>2028.10 | 分担                | (1) 2,500千円<br>(2) 500千円<br>(3) 1,000千円<br>(4) 0千円                         | 15                         |



## 特記事項

(FS 様式 8)※

※FS 様式 8 は、3 ページ以内で記入してください。

○ 研究開発代表者(PD)と評価者の利害関係の有無

※利害関係及び利益相反の定義は、募集要項第 2 章「2.8.3 利益相反マネジメントの実施」をご確認ください。

※PD、PO、AD は、ALCA-Next ウェブサイトの事業概要、各技術領域のページをご参照ください。

※選考に関わる者について懸念点等ある場合は具体的に記載して下さい。

※提案先が「その他新発想」の場合、PO および AD との利害関係については不明を選択してください。

・プログラムディレクター(PD)との利害関係: 有 無

理由(利害関係がある場合):

〈記載例〉××プロジェクト(20××年～20××年)にて PD と共同研究を実施しており、2.8.3.(1)に定める利害関係者の要件のうち、d)に該当する。

・プログラムオフィサー(PO)との利害関係: 有 無 不明(その他新発想)

理由(利害関係がある場合):

〈記載例〉××プロジェクト(20××年～20××年)にて PO と共同研究を実施しており、2.8.3.(1)に定める利害関係者の要件のうち、d)に該当する。

・領域アドバイザー(AD)との利害関係: 有 無 不明(その他新発想)

利害関係にある領域アドバイザー名: ○○ ○○

理由(利害関係がある場合):

〈記載例〉××プロジェクト(20××年～20××年)にて AD と共同研究を実施しており、2.8.3.(1)に定める利害関係者の要件のうち、d)に該当する。

○ 研究開発代表者に関する機関(研究開発代表者等の研究成果を基に設立した機関等)に所属する、主たる共同研究者の有無

研究開発代表者に関する機関: 有 無

当該機関の名称(主たる共同研究者名): 株式会社○○(科学太郎)

理由(ある場合):

〈記載例〉研究開発代表者の研究成果を基に設立した機関であり、2.8.3.(2)に定める要件のうち a)に該当する。

○ JST の出資先企業の研究グループ参画の有無

JST の出資先企業の参画: 有 無

当該機関の名称(研究開発代表者名): 株式会社○○(科学太郎)

当該機関の名称(主たる共同研究者名): 株式会社○○(科学太郎)

○ (該当者のみ)研究開発提案者のエフォートに関する特記事項

※研究開発提案者が特別の任務等(特定の学内・社内業務等)に仕事時間(エフォート)を要する事情などあれば記載してください。

PD・PO・ADとの利害関係がある場合は、その内容を具体的に記載してください。

募集要項「2.8.3利益相反マネジメントの実施」の「(3)JSTの利益相反マネジメント」を参照の上、JSTの出資先企業の研究グループ参画の有無について、記載してください。



# FS様式8

ALCA-Nextへ複数回の応募となる場合、前回の提案との相違点を記載してください。

過去にALCA-Nextと関連するJST事業（ALCA、未来社会創造事業）から研究費を受給していた場合、その課題との相違点を記載してください。

選考に関わる懸念点等や、異動予定等がある場合は、こちらに記載してください。

2025 様式(ALCA-Next FS) ←

←

←

←

○ その他特記事項 ←

- ・ALCA-Nextへ複数回の応募となる場合、前回の提案との相違点 ←
- ・過去にALCA-Nextと関連するJST事業(ALCA、未来社会創造事業)から研究費の課題との相違点 ←
- ・その他異動予定等 ←

←

←